

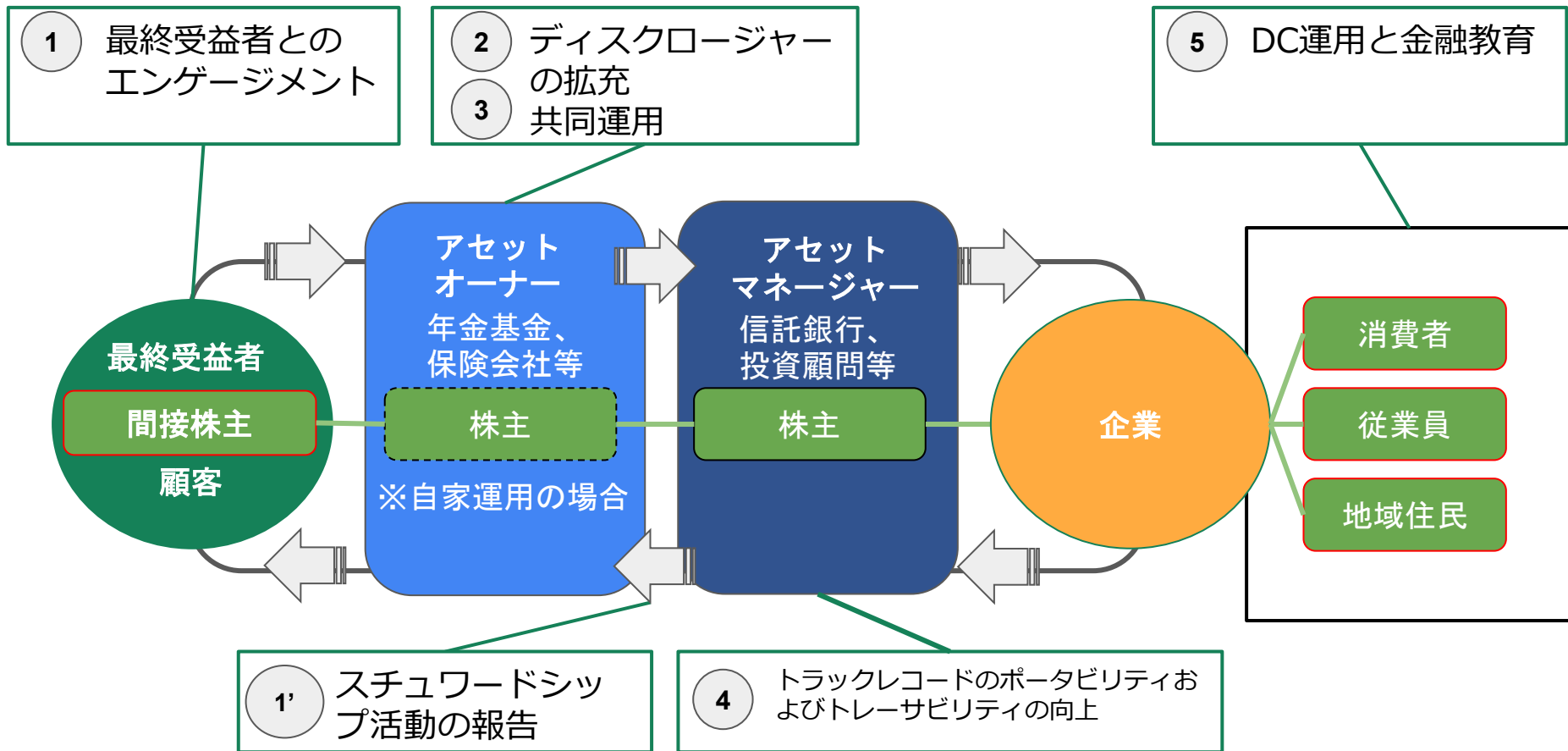
# 資料

2023年10月27日  
中曾 宏

## 論点：

- ① 最終受益者とのエンゲージメント
- ② ディスクロージャーの拡充
- ③ 共同運用
- ④ トラックレコードのポータビリティおよびトレーサビリティの向上
- ⑤ DC運用と金融教育

# インベストメント・チェーンと企業のステークホルダー



## トラックレコードのポータビリティおよびトレーサビリティの向上

## 現状

- 有能なアセットマネージャーが独立・起業しても、トラックレコードの持ち出しが禁止されているケースが多く、能力を証明する手段がない。

## 提言

- **GIPS**（Global Investment Performance Standard）に準拠したデータの作成。
- マネージャーが独立する際に、前職の運用会社が、当該マネージャーのトラックレコードの開示を許容、または、アセットオーナーからの照会に応じること。
- アセットマネージャーの通算トラックレコードを保存したデータ・プラットフォームを整備すること。

## 期待される効果

- 有能なアセットマネージャーの独立・開業を促進し、資産運用業の競争に資する。
- アセットオーナーが有能なアセットマネージャーを登用しやすくなり、アセットオーナーの資産運用の高度化に寄与。

## トラックレコードのポータビリティおよびトレーサビリティの向上

## 現状

大手運用会社に  
優秀なファンド  
マネージャーが  
ある一定の割合  
で存在

## 負の循環



- ファンドパフォーマンスと報酬体系の相関関係が低い
- 類似商品が多い
- 販売会社の影響力が強い

独立を試みるがアセット  
オーナーに前職から  
トラックレコードを提出  
できないため失格

ボトルネック

独立に失敗し、  
大手運用会社に  
再就職

アセットオー  
ナーから資金  
が集まらない

## あるべき姿

大手運用会社に  
優秀なファンド  
マネージャーが  
増える

## 正の循環



アセットオーナー  
は、新興だが高い  
運用スキルを有す  
るファンドマネー  
ジャーを登用しや  
すくなる。

運用のイノベ  
ーションを  
目指し独立

- 前職のトラックレコードを持ち出し可能
- アセットオーナーからEMのトラックレコードを前職に対して照会できる
- データ・プラットフォームに格納されたトラックレコードがファンドマネージャーに紐づいており継続利用可能

ボトルネック  
の解消